



愛媛を中心とした哺乳類標本

2020年に受入れた県内の哺乳類研究者たちによるコレクション。頭骨や全身骨格、足跡標本など約160点からなり、愛媛の哺乳類相を知る上で重要。



愛媛を中心としたチョウ類標本

2020年に受入れた個人コレクション。愛媛県で絶滅が危惧されるチャマダラセセリやスジボソヤマキチョウなどの標本が多数含まれる。



面河溪の高等植物標本

2012-2013年、名勝面河溪内において特別な許可を受け、植物相調査を実施。確認された432種のうち328種を標本化した。



令和4年度 面河山岳博物館 収蔵資料展

標本

～地域の記憶をつなぐもの～

近年、面河山岳博物館に寄贈のあった生物標本のうち、愛媛県や面河溪の自然の姿を記録した哺乳類、チョウ、植物などの標本を公開します。多くは普通に見られる種ですが、地域の自然を語り継いでいく上では重要な証拠標本となります。また、今ではほとんど見ることができない種、絶滅してしまった種など、標本が残っていることで自然環境を復元できる貴重な標本も含まれています。

地域の記憶を未来につないでいく「箱舟」のような博物館の取り組みをご覧ください。

令和4年 10月1日(土)～11月27日(日)

◆会場◆

面河山岳博物館

〒791-1710愛媛県上浮穴郡久万高原町若山650番地1
TEL:0892-58-2130 FAX:0892-58-2136

◆開館時間◆

9時30分～17時(入館は16時30分まで)

◆休館日◆

毎週月曜日(祝日の場合は開館)、祝日の翌日

◆入場料◆

一般300(250)円/小中学生150(100)円

※()内は20名以上の団体料金

高齢者(65歳以上)・障がい者(介添者1名含む)は半額

◆主催◆

久万高原町、面河山岳博物館

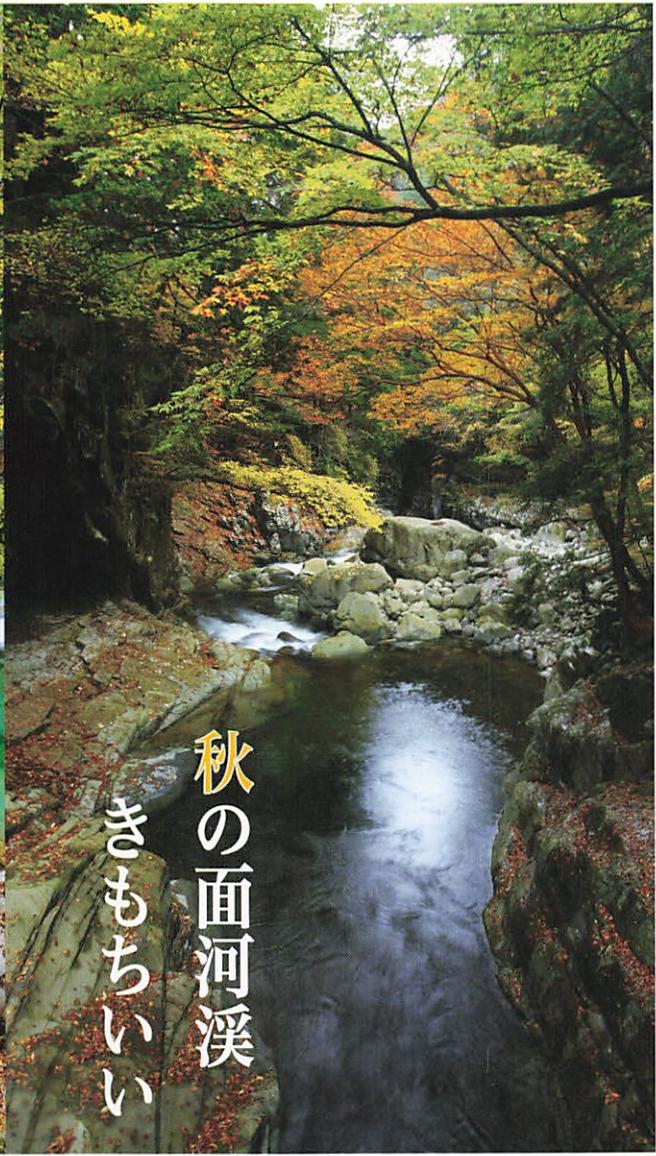
R4面河山岳博物館
収蔵資料展

「標本～地域の記憶をつなぐもの～」

割引券

所定額より50円引きいたします。

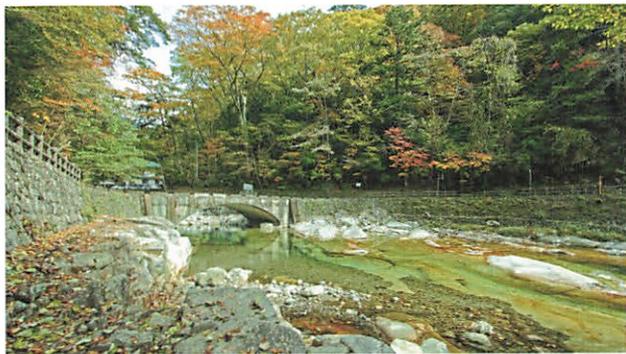
※1枚で4名様有効、1組1枚まで利用可
他の割引との併用不可(R4.10.1～11.27有効)



秋の面河溪

きもちいい

写真撮影:秋本 栄



大正広重と呼ばれた鳥観図絵師吉田初三郎。昭和十年に発表したパノラマ地図「天下第一の絶勝面河溪」において、その渓谷美を次のように評しています。

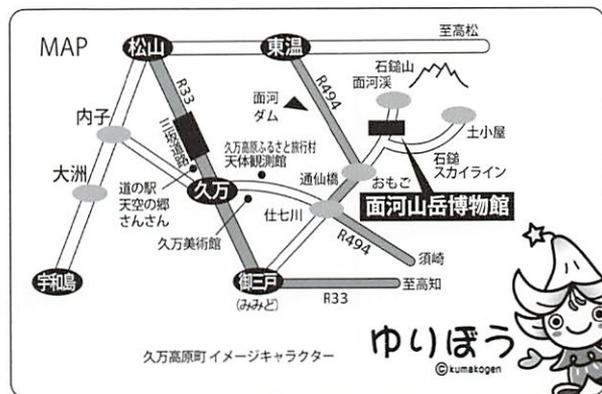
その水の清冽なる、水晶の溶けて流るるか。

溪底サツと翡翠ほとばしり、千古斧鉞を許さるる天然林は、昼なお暗き緑に包まれ。

ヒノキ、モミ、ブナ、ケヤキ、カエデなど巨樹大木が全山に満ち、鬱蒼として天を摩すところ。幽邃、神秘、真に塵外の仙境であろう。

約百年後の私たちの目にも、当時の鮮烈な水や深い森の姿は重なります。

塵外（俗世間の煩わしさから離れた所）の面河溪にようこそ。



◆面河山岳博物館へのアクセス◆

【自家用車】松山 I.C より国道 33 号線を高知方面に直進 50 分。旧美川村御三戸交差点を面河溪方面に左折後直進 30 分。面河溪の入口右側。

【バス】JR 松山駅から約 2 時間（久万にて伊予鉄南予バスに乘換えあり）。※詳しくは伊予鉄南予バス久万営業所 0892-21-0018 までお問い合わせください。

◆お問い合わせ先◆

面河山岳博物館 〒791-1710 愛媛県上浮穴郡久万高原町若山 650 番地 1

電話：0892-58-2130 FAX：0892-58-2136

H P：http://www.kumakogen.jp/site/omogo-sangaku/

facebook：https://www.facebook.com/omogo.mountain.museum/

◆車イスでご来場の方へ◆

収蔵資料展は 2 階の企画展示ブースを会場としています。現在のところ、エレベーター及び階段昇降機の設置がないため、会場へは 24 段の階段を利用させていただく必要があります。そのため、車イスをご利用の方には大変ご不便をおかけしますが、ご理解くださいますようお願い申し上げます。